

Mランドニュース Vol.162

丹波ささ山校 令和2年10月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹
<https://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉

「明るくなりたい」と思うのが大原則。
ほほえむ、心してほほえむ。
明るいのは財産より尊い。

株式会社タニサケ 松岡 浩会長

平成17年7月21日 弊社講話より

切磋琢磨

例年、大学生の夏休みには、おなじ学部のお友だちとご入所されることが多いのですが、今年はオンライン授業により登校されたのは一回若しくは二回で、おなじ学部の友人とのご縁がありません。

そのためグループで合宿されるゲストは、中学や高校のお友だちで、絆の深さはおのずと伝わってきます。

その中、京都と大阪よりお越しの中村弥和様、田中愛花様、尾藤千寿様、三浦真衣様は、お互い励まし支え合い、仮免許学科試験では、見事全員「満点」合格されました。

合格発表では感動の涙を流される場面もあり、私たちも本当に嬉しくなりました。

そんな彼女たちから、感想文をいただきましたのでご紹介いたします。

最初、一週間近くでかなりの量の新しいことを覚えなければいけないというのは、私たちにとてもハードでした。

だから、学科をがんばったら自分へのご褒美として「チョコレートを食べられる！」などと、自分たちを元気づけなが

ら、真剣に授業を聞いて理解するということに励みました。

効果測定(学科テスト)や仮免が近づいてきて、覚える量もかなり多くなってきた頃からは、ロビーでの勉強以外の時間にも、部屋で分からないところを教え合い、自分の間違った問題などを共有していました。

効果測定の前には受付で問題集を借りて、みんなで解いたり、教科書を何度も読んだりしました。



本をめくる音と、ペンの走る音だけが

誰かが不安な気持ちになつたときは、「これだけ勉強したから大丈夫！」と励ましあったりしました。

そして、皆で仮免に合格したら「コンビニスイーツを食べる！」ということを決めました。

緊張で迎えた仮免当日の結果発表。四人とも満点！四人で必死に勉強した分、頑張っただけでよかったという達成感も四倍で胸がいっぱいになりました。



努力の証、「満点バッジ」です！

Mランドの壁にも書いてあるように、年齢を重ねることに満点を取ることも、テストを受けること自体少なくなってくる中で、全員満点を取れたということは、自分たちの自信にもつながったし、しっかり勉強してよかったと心から思いました！

これを読んでいるあなた、「これ以上やれることはない！」と自分に自信を持って言えるくらいまでがんばってください！応援しています。

それから教習所の皆さん、十三日間しかありませんでしたが、本当にお世話になりました。この二週間でインストラクターの皆さんから、大変多くのことを学びました。

面白い話をしてくれる方、帰ってからもビビらないで運転できるようにいろいろなアドバイスをくれた方、緊張しているときは場を和ませてくれた方、

色々なインストラクターの方がいましたが、Mランドに来て、皆さんに出会えて本当によかったです！
ありがとうございます！
そしてミロのごはん、おいしかったです！

このように、滞在中お互いを支え合うようすを拝見することができました。

いつか社会に旅立つ彼女たちは、大切なことを身をもって体験されたように思います。

Mランドと私

顧客チーム 能登 康一



私が自動車教習所の教習指導員を志したのは、自身が県外の自動車教習所で二輪教習を生徒として受講した際、生徒に安全運転に対する影響を与ええるインストラクターたちのカッコよさに、あこがれを抱いたからです。

早速、地元の自動車教習所に就職。ものは順番で普通自

動車の指導員審査を受け、苦勞の末合格し教習に励んでおりました。

そんな中、「あいさつ」と「掃除」を掲げて取り組んでいるMランドを知り、自分にもなにか貢献できないかと、採用の申し出をしました。

入社してから教習指導員としてはもちろんのこと、「顧客チーム」としても、お越しになるゲストに美しい環境で過ごしていただきたいと、メンバーとともに取り組んでいます。

教習では、入社四年目を迎えた昨年、二輪指導員審査を受け、念願であった二輪指導員として教習を始めさせていただきました。

運転の知識や技術を伝えるだけでなく、一人ひとり個性のちがうゲストと向き合い、本人の良いものを引き出し、「思いやりの運転ができるライダー」に成長していただけることが私の願いで、そんな環境がMランドにあると思います。

弊社理念の一つに「楽しくなければ仕事ではない」ということばがあります。

ゲストはもちろん、ここで働く社員が「楽しい」と感じられるMランドになるよう、これからもがんばります。

履物そろえつどそろえろと 心もそろろう

山形県村山市樽石に、「卒業のない学校・樽石大学」があります。元小学校教師 故松田清男前学長が平成二年に地域の方々と設立されました。

その松田先生が発行された「人生に余生なんてない」は、幼少期から教育現場、晩年に至るまでの経験から、百八にわたる教訓を残されています。

いずれも簡単なことでありながらも、続けることが大変な内容は、今の社会を生きる私たちにとって忘れてはならないことばかりです。

その八十二番目の人生訓・教育訓をご紹介します。

教育者 森信三の「しつけの三原則」のひとつに、「履物そろえ」がある。

一、朝、必ず親に挨拶をする子にすること。

二、親に呼ばれたら必ず、「ハイ」とハッキリ返事のできる子にすること。

三、ハキモノを脱いだら、必ずそろえ、席を立ったら必ずイスを入れる子にすること。

数ある躰のなかで、研究された中から選ばれた三原則

である。
まさに、基本の「き」ともいえるものである。

清男学長は、「人間の基礎をつくる小学校の教師だったが、「履物そろえ」には特別なこだわりを持つ。「履物と心」が繋がっていることを、多くの子どもを見てくる中で、やはりそうかと、わかった。

子育てするにおいて、基本的生活習慣(二いわば、しつけ)として、身に付けさせるべきことは実に多い。

しかし、「履物そろえ」は、誰もが納得するしつけの筆頭にあげられるものであろう。

(補足)小学校は、英語でエレメント(要素)と表現する。(を学ぶ)学校と表現する。

エレメント(要素)、つまりは、人間として持つべき本来の根本的な基本要素を学ぶとどこということがストレートに伝わる。

その意味では日本語の、小学校より、より具体的な表現法ではある。

小さいけれど大切なのが、小学校時代のしつけといえる。

約五年前、山形で初めてお出会った私たちに、旧知の間柄のように親しく接していただいた松田先生。

そこには上下関のない「命と命の出会い」を感じ、翌日、立ち立する私たちは、松田先生より、ご丁寧なお別れのことばをいただきました。

お便り

Mランドでは卒業されたすべてのゲストに、「無事故・無違反」を願い、担当インストラクターが、後日ハガキをお送りしております、お返事のお便りをいただくこともあります。

その中、奈良県の谷上未備様より、嬉しいお便りをいただきましたので、ご紹介します。



ドライブ先で、免許証とともに

九月三日に奈良県の免許試験場にて、試験を受け無事に一回で合格し、免許を取得することができました。

きたのは、丁寧に教えていただいたおかげです。
「いえいえ谷上様の努力の証です」Mランド取得後、自宅の周辺を少し運転してみましたが、教習所で初めてハンドルを握ったときのように緊張し、運転者としての自覚と責任を待たなければとあらためて実感しました。

私は合宿の間、常に延泊に怯えながら過ごしていましたが、すれちがうインストラクターの皆さんが、いつもあいさつをしてくるので、気分がよくなっていました！

また食事のとき、ミロの方々が「おかえりなさい！」と迎えてくれると、リラックスできたことを覚えていきます。Mランドの皆さんは、当たり前のようにしているあいさつだと思いますが、私にとってこのあいさつは特別なもので、毎日すこく元気づけられていました！

はじめは安さと近さで選んだMランドでしたが、結果的に選んで大正解でした。

二週間という短い間ででしたが、多くのことを学び成長できたように思います。

卒業した私にハガキを送ってくださると思わず、驚きました！メッセージ通り絶対無事故で過ごします。

社のコースを鳥になって

トライアスロンチームブレイブ八尾彰一監督のご友人、丹波市在住の芦田幸太朗様。

九月七日、新たに作成する弊社ホームページの映像で、上空から教習コースを撮影していただきました。

高回転で回るプロペラの音とともに、ドローンが上空へと高く舞い上がっていきますと、前後左右軽快に私たちの頭上を移動していきます。

見せていただいた動画は、予想もしなかった美しいもので、鳥たちはこのように見ていたのだと気付かされました。



丹波篠山の街に、社のコース

十五年前、小河二郎前会長は、わずかな樹木のコースに、このように緑が生い茂る杜のコースへと、育てていただきました。その思いは今もなお、成長を続けます。

今月のありがとうカード

Mランドの皆さま

短い間でしたが、お世話になりました。
Mランドの皆さまはとっても明るく、ボランティアや学科、技能教習など、どの時間も楽しかったです。
また、新しい友だちもできました。
Mランドで過ごした二週間は密度の濃い時間で、あっという間でした。
ありがとうございました。また来ます!!

橋口文香様

編集後記

「運転免許を取りに来られる二十歳前後といえ、その後の人生に大きな影響を与える多感な時期。教習所はそれができるいい場所です」と、小河二郎前会長は私たちに教えられました。

九月も教習やボランティア活動で、笑顔にあふれるゲストをたくさん拝見し、微力でもお役に立っているかと……。

しかし、現状維持は衰退。プロは日々進化せねば。(微)

【掃除に学ぶ会】のご案内

十月四日(日)八上小学校 東トイレ 担当 前川
午前八時~午前九時
十月二十五日(日)篠山中学校 運動場トイレ 担当 中野
午前八時~午前九時
私たちと一緒にトイレ掃除をしましょう。ご参加いただける方は井本までご連絡ください。